

外人部隊の仕切り方
ラテンカルチャー
ユキーナ・富塚・サントス

1. 外国人チームの仕切り方.....	3
パーティの仕切り方	6
2. イタリアカルチャー	8
仕切れないイタリア人.....	10
3. 性別についての心構え	13
Kammer rate.....	13
同性からどう見られているか?	14

1. 外国人チームの仕切り方

私は留学をするのに、めちゃめちゃ英語を勉強した。キャリアの仕事をする傍ら、人目を忍んでコツコツ勉強した、その裏側には当然ある仮定が潜んでいる。MBAは各国から頭の良い人が集まってくるだろう・・・と。少なくとも数ヶ国語を操り理路整然とビジネスを分析する人が大部分であろうと・・・

ここが私の華やかな誤算であった。

これは、えっ！！電波少年でいえば、画面が変わって松本明子の顔が飛び出すシーンのような、考えもしなかった驚きの連続を語るものである。男のパターンは後で述べるとして、女の馬鹿さ加減はお話にならない。

彼女の名前はエレナ、ロシア人、とても気立てがいい。以前はオプションなどの取引を7年やって、ジブラルタル、キプロスのオフィスに居たというからそここのキャリアと思っていた。もちろん英語は堪能、イタリア語は私と同程度。

ビビーノクラブというワインクラブがモッコーニにはあり、ファイナンスクラブなどと違い仕事につながるメリットが無いので、生徒の関心は薄い。私は個人的な趣味と行きがかり上、プレジデントになることになった、さんちゃん経営しながら、仲の良い彼女にヴァイスプレジデントをお願いしたのだけれど、仕事のできなさ、統率力のなさ、カンの悪さにびっくり、悪口などめったに言わない私でも、「なんて、頭がわるいんだろうと」思いたくなることしばし・・・

例その1

「ユキ、みんなにアンケートを配ってクラブ活動について何を希望するか書いてもらうのはどうかしら、私たちのメールボックスに入れて回収するのよ！」—私；何度メールを出しても誰もプレゼンに来なかったクラブのアンケートを誰がわざわざ記載して人のボックス探して入れるのか？しかも彼女のアンケート用紙は無記名式で何を聞きたいのかわからないお粗末なものだった—

例その2

「ユキ、過去のビビーノの記録をみたら、誰がこのクラブを立ち上げたかわかったわ!!我々はHP上にヒストリー欄を作れるのよ!すごいでしょ!」—私；ヒストリーより先にやることが多々あるだろう、コンタクトリストを早く作ってくれ!!—

例その3

卒業生のキツネ女エボラ（クラブ予算を元に自分の仕事をしようとしている奴）と交渉しなければならず、ミーティング前に彼女に今夜の作戦を語った後、「ユキ、いい作戦があるわ、とにかく相手を混乱させるのよ、うっかり本音をしゃべるかもしれないわ！」—いったい当方に何の得があってそんなことをしようと思うのか？結局彼女はこの日あれほど黙っどけと言ったにもかかわらずしゃべり通し（自分が混乱してどうする！！）私は、早々に切り上げることに手間取った—

嗚呼、まったく、これほどとは・・・この考察は次回に続く

なぜ彼女エレナが馬鹿ばかしい行動をとったのか考察するために、彼女の目的（ゴール）を見てみよう。いわく「30前に結婚して子供を生み、キャリアもアップする」である。アリーの「人よりちょっとだけ金持ちになって、子供3人生んで、旦那様に足をマッサージしてもらおうのが夢なのになんでかなわないの？」と全く同じである。

まず結婚について、エレナにはフランコというイタリア人の彼がいる。この男の場の雰囲気を読まずに下ネタを話す頭の悪さ、始終貧乏ゆすりしながら食事するマナーは、私としては甚だ気に入らなかったが、人の彼なので、それはさておき。この前のクリスマス、フランコはクリスマスと大晦日は仕事が入ってローマに行かねばならず、エレナと一緒に過せないという。捨てられる女の前兆である。普通はここで、「おかしい、ローマに別の女がいるのでは？」と疑ってみなくてはいけない。案の定、最近になってフランコはローマで就職が決まって移り住むという。エレナが将来はどうすると問い詰めたところ、「わからない」とかわされ逃げられたようだ。「彼女はまた30前に結婚をして子供を生む目的」のためがんばらねばならない。

一方キャリアの方は、EU圏で働ける就労ビザを持っていない以上、彼女に夏のインターンシップの機会を与えてくれる会社は一つもなかった。卒業生などあらゆるコンタクトを作って職を聞かねばならない。ビザの問題をクリアしない以上希望的展開は望めない。イタリア企業のお役所仕事を考えると、わざわざロシア人に何の得もなくヴィザを与える会社はゼロだろう。いかに付加価値がつけられるか、私が彼女なら戦略を考えるのだが、如何せんここまで頭がまわっていないようだった。

結婚と仕事の点からビビーノクラブについての彼女の行動を振り返ろう。

前回2ヒストリーにこだわったのは、私の指示に従って、他のMBAのHPを見たら（ビビーノがイベントを企画して他校を招待して人脈を広げるとインセンティブを与えた）他が

由緒正しくなんとなくかっこよかったので、わがクラブも必要とすぐ飛びついた。

前回1・3アンケートとエボラ宅の失態は仕事探しのコンタクトが欲しいと考えると納得できる。無論エボラのところでは卒業生名簿を作っているイタリア人男の電話番号をすかさずゲットしていたので。

すると、エレナは自分の目的のにそった行動をしており、最初からよくよく考えていたのか、(仮説1) それとも単なる偶然の思い付きの連続に過ぎないのか(仮説2)。

「ユキ、みてすごいアイデアよ。おとしのビビーノメンバーがやったの。ーバレンタインにあなたの好きなワインを一本持ってきてください。我々はチョコを用意します。ーね、いいでしょ。」

私；いろいろ提案ありがとう。みんながワインを持って来るから、我々はワイン代を節約できて、しかもみんなの関心をひけるってことね。でも、一体何人の人が、飯も食えないのに、わざわざワイン買ってもってくるのかしら？

「うーん・・・信じるしかないわね、きっとたくさんきてくれるって。」

これを聞いたとたん頭の中で仮説1を削除した私だった。